

＜平成28年度健全化判断比率＞

- ◎実質赤字比率（早期健全化基準:14.77%） -
（一般会計の実質収支が黒字の場合「-」となる）
- ◎連結実質赤字比率（早期健全化基準:19.77%） -
（全会計の実質収支が黒字の場合「-」となる）
- ◎実質公債費比率（早期健全化基準:25.0%） 7.7%
（標準的な財政規模に占める借金返済額の割合）
- ◎将来負担比率（早期健全化基準:350.0%） 78.9%
（標準的財政規模に占める将来負担すべき実質的な負担の割合）

＜平成28年度資金不足比率＞

- ◎北部簡易水道事業特別会計資金不足比率 -
- ◎南部簡易水道事業特別会計資金不足比率 -
- ◎農業集落排水事業特別会計資金不足比率 -
- ◎公共下水道事業特別会計資金不足比率 -
- ◎温泉施設特別会計資金不足比率 -
- ◎水道事業会計資金不足比率 -

※公営企業毎の資金不足額が、事業規模（料金収入の規模）に対してどの程度あるか示す指標です。

※どの会計も黒字で資金不足がないため「-（該当なし）」で表示しています。

監査委員の決算審査意見（抜粋）

一般会計歳入総額については、収入済額 110 億 611 万円で前年度に比べ 22 億 3,083 万円増加したが、町税の収入未済額は、4,894 万円となっている。また、ふるさと納税による収入は、5 億 3,086 万円になった。

「負担の公平の達成」に向け滞納整理及び徴収業務については、実効を高めるように努力を期待したい。

国民健康保険特別会計は、町税に比べて収入未済額が高い状況であることは留意すべきである。

公共下水道事業特別会計は、歳入決算額に一般会計からの繰入金 2 億 1,599 万円が含まれており、実質的には 2 億 1,598 万円の赤字であった。下水道整備により、地方債現在高が増加するため、町債発行額の抑制、また、接続率の向上等を図りながら事業を進め、料金の値上げ等を検討しながら、効率的な運営に努められたい。

町の財政状況は、財政健全化判断比率等財政指標で示されるように比較的健全な財政運営を維持し、一定の水準を保っているが、少子化・超高齢化社会に突入している現在、早期に将来に向けた財政状況を洗い直し、対策を練ることも肝要ではないかと考える。

水道事業会計は、給水戸数の増加等により給水収益は微増であり、当年度利益は 4,087 万円となっている。財政基盤については、自己資本構成比率が 68.5% であり、経営状況は健全といえる。

安定した水道事業を営むためには、施設の耐震化等を実地することが重要であり、今後、多大な経費が必要となるので、資本費の確保が必要となる。

工事請負契約の締結

子育て・就労応援センター建設工事（建築工事）

契約者	太陽・成瀬特定建設工事共同企業体
契約金額	7,583万円（税込）
工期	平成29年9月14日から 平成30年2月28日まで
場所	池田町片山地内（片山保育園東側）



安全祈願祭